

平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名(京都市立待賢幼稚園)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
確かな学力・豊かな心・健やかな体	保育の改善・充実	・行事主体から子どもの生活を主体とした保育 ・園内研修・エピソード研修の充実	・園だより「子どもの姿」による事例検討 ・アンケート項目「子どもはめあてをもって登園していますか」
	幼小接続の視点	・管理職による定期的な情報交換 ・「互いを知る」ための教職員研修や子どもの交流の推進	・定期的な情報交流 ・公開保育と研修の回数 ・アンケート項目「めざせ100冊親子で読書の取組は楽しめていますか」
	心と体・生活習慣	・生活習慣の定着に向けた保護者との連携・啓発 ・運動を取り入れたバランスの良い保育	・アンケート項目「基本的な生活習慣がついていると思いますか」「体力がついてきていると思いますか」 ・運動を保育の計画に取り入れているか
	信頼関係・折り合い・自己肯定感	・安心して生活を送るための教師との信頼関係づくり ・発達に応じた子どもの人間関係づくり	・アンケート項目「幼稚園に行くのを楽しみにしていますか」「友達と元気に遊んでいますか」「生き生きと園生活が送れていますか」
園独自の項目	預り保育の充実	・預り保育の参加人数 ・保育者同士の連携 ・指導計画の作成・見直し	・預り保育の参加人数 ・アンケート項目「預かり保育は安心安全な遊びの場となり、喜んでいきますか」 ・保育記録の作成と活用
	子育て支援の推進	・ひよっ子クラブの実施・充実 ・教育相談の取組 ・子育て支援センター等との連携	・ひよっ子クラブの参加人数 ・ほっこり子育て広場の実施回数(在園児)
	情報発信の充実	・ホームページの更新 ・地域への情報紙の発行 ・保護者への保育の説明	・ホームページのアクセス数と地域・保護者からの反応



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年9月12日
	評価者・組織	教職員
アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・子どもの遊ぶ姿の変容(事例検討から) ・アンケート結果「できる」82%	・研究主題を保育の改善にし、研究とリンクさせたので教師に意識ができ、子どもの良い変容が見られつつある。 ・保護者アンケートの結果良	・主体性が発揮できる遊びの環境構成に改善が見られた。2学期以降は、計画的に見通すことを課題として取り組んでいく。
・交流の年間計画実施率90% ・5歳児後半の指導計画の見直し ・活用率100%	・管理職が中心となり話し合いを重ね、計画的に取り組むことができた。 ・読書については、100冊達成率は77%。	・交流の事前打合せだけでなく、事後も丁寧に行っていく。 ・100冊読書が達成できるよう保護者に啓発していく。
・できている97% ・体力向上97% ・実施後の週案の見直しにより、ほぼ毎日運動を取り入れた活動がある。	・生活習慣の定着に関しては、自分の子どもに対する保護者の評価は厳しい。 ・計画的に運動を取り入れた保育の記載が週案にある。	・早寝・早起き・朝ごはんの定着を家庭に啓発。 ・運動をとまなう活動を引き続き週案に明確化。
・不登園児 なし ・安心・信頼 4歳児91% 5歳児100% ・自信・自己肯定感 100%	・教師との信頼関係ができ、喜んで幼稚園に来ている。 ・年齢に応じて、友達関係ができてなくて当然。心配のないよう保護者啓発が必要。	・人間関係の育ちを園内研修の事例から学んでいく。 ・子どもの心身の発達過程を意識して見ていく。
・ほぼ全員が預かり保育に参加。 ・喜んで参加100% ・保育記録作成等による情報共有及び指導計画への反映	・預かり保育には喜んで参加している。内容についても少しずつ変化をもたせ取り組むことで充実。 ・記録等を活用し連携もできている。	・日常保育との繋がりを意識して具体的な活動の見直しを図り、より子どもが喜んで参加できるようにする。 ・記録等を活用して、引き続き
・昨年度と比較し、20%程度増加傾向にある。 ・保護者はほっこり子育て広場に必ず1回参加している。	・登録数の増加により毎週にぎわい、子どもは喜んで参加している。 ・ほっこり子育ては既存事業で全員に実施できた。	・本来ある子育て支援の趣旨を忘れず、2年保育幼稚園の良さをアピールして入園に繋げていく。 ・引き続き実施していく。
・アクセス数昨年比110% ・保護者からは高評価を得ている。	・ほぼ毎日更新できたことがアクセス数を増やした要因。 ・保護者からは、見やすく分かり易いという意見が多く、励みになる。	・更新内容の精査をし、幼稚園教育の理解が図れるような発信を心がける。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月12日
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援策
・運動会での様子を見ても、子どもが生き生きとし一人一人を大切にした保育がされている。	・幼稚園での子どもの育ちを地域でもしっかりと見守り育てていきたい。
・地域にある公立同士の関係から言えば、さらに就学前の幼稚園と小学校とが繋がり、よりよい連携を深めてほしい。	・幼小連携を深めていくためにも、小学校の学校運営協議会を幼稚園も一度参観してほしい。
・2学期以降体力が備わってきた子どもの成長ぶりには、目を見張るものがある。「毎日の運動会」で運動量が増し、早く寝るようになった。	・PTAOBと連携しながら、子育ての先輩として伝えるべきことは伝えていきたい。
・どの子どもも不適応を起こさず、安心して登園できていることは、幼稚園が役割をよく果たしていると言える。	・今後も地域にある公立幼稚園としてどの子どもも受け入れられ、安心して通える幼稚園であってほしい。
・幼稚園アンケートを見ると、就労に重きを置いている保護者の意見が増えているように思う。	・核家族化がさらに進み、今後就労等の保護者が増えてくると思われる。預かり保育の重要性はさらに増していく。
・本園PTAOBが中心となる「お話し会」は、親が孤立して不安定感に陥らないための子育て支援として大切なものである。	・子育て支援推進に向けは、地域との連携により関係機関との繋がりをさらに大切にしてほしい。
・毎日のホームページ更新はとても楽しみである。今後も情報発信の充実に向けて取り組んでほしい。	・地域への情報発信のためには、ひよっ子クラブ(未就園児対象)のチラシ等の配布に今後も協力したい。